

全日本スキーオリエンテーリング選手権大会（個人競技）実施基準

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

1. 目的
 - 1.1 日本スキーオリエンテーリング選手権者（個人競技）を決める。
 - 1.2 スキーオリエンテーリング技術の向上をはかるとともに、わが国のスキーオリエンテーリングの普及、発展に資する。
2. 適用規則
 - 2.1 「日本スキーオリエンテーリング大会競技規則」（以下「競技規則」という）、および「日本スキーオリエンテーリング地図図式規程」（以下「JSSkiOM」という）を適用する。
 - 2.2 この実施基準は、「公認大会開催に関する規則」、および「日本オリエンテーリング競技規則および関連規則類の運用に関するガイドライン」に準じ、全日本スキーオリエンテーリング選手権大会（以下「全日本大会」という）に必要な事項をまとめたものである。
 - 2.3 日本選手権クラスを設ける大会を全日本大会、また日本選手権クラスにおける優勝者をスキーオリエンテーリング日本選手権者（以下「日本選手権者」という）とする。
3. 主催者
 - 3.1 全日本大会の主催者は、公益社団法人日本オリエンテーリング協会（以下「JOA」という）とする。
 - 3.2 JOAは、競技会の運営主管をJOAに加盟する都道府県を代表する組織（以下「正会員」という）、または正会員に所属するクラブ等の団体、およびその他JOAが開催を認めた団体に委ねることができる。
 - 3.3 JOAは、公認申請のあった大会を全日本大会として指定することができる。この場合、日本選手権クラスはJOAとの共催とする。
4. 開催
 - 4.1 全日本大会は競技形態毎に、原則として年度1回の開催とする。
 - 4.2 全日本大会は日本選手権クラス以外に一般クラスを設ける。
 - 4.3 全日本大会は同じトレインでの開催が続かないことが望ましい。
 - 4.4 開催日、開催場所については、遅くとも前年度末までに決定、公示する。
 - 4.5 トレインは、過去1年間、大会を開催していないことが望ましい。
5. 競技形態
 - 5.1 ミドルディスタンス競技、スプリント競技、パシュート競技の3種目を原則とする。なお、ロングディスタンス競技を実施することもできる。
 - 5.2 ポイントオリエンテーリングとする。
 - 5.3 スプリント競技の日本選手権クラスは、予選・決勝レース方式にすることができる。

6. クラス
 - 6.1 日本選手権クラスは日本選手権者を決めるMEおよびWEとする。また学生日本選手権者を決めるMUnivおよびWUnivを準備することが望ましい。
7. 参加資格
 - 7.1 日本選手権クラスの参加資格は以下のいずれかを満たすものとする。
 - 前年度全日本大会の日本選手権クラスを完走した者
 - 前年度に開催されたJOAスキーオリエンテーリング委員会が指定する大会において最上級クラスを完走した者
 - 当年度に開催されたJOAスキーオリエンテーリング委員会が指定する大会において最上級クラスを完走した者
 - 正会員に推薦を受けた者
8. 参加費
 - 8.1 日本選手権クラスの参加費は以下のとおりとする。
 - 競技種目に関係なく、日本選手権クラスの参加費は、主催者または主管者が大会ごとに定めることができる
 - 参加費には、競技種目に関係なく、日本選手権クラスの参加者1名につき、選手権料（1,000円）が含まれるものとする
 - 参加費には、競技種目に関係なく、日本選手権クラスの参加者1名につき、JOA登録料（500円）が含まれるものとする。ただしエントリー時にJOAの競技者登録をしている者はこれを免除する
 - 選手権料、およびJOA登録料は、JOAの収入とする
9. 地図
 - 9.1 JSSkiOMを適用する。ただし、JSSkiOMが制定されるまでの間は「International Specification for Ski Orienteering Maps」を準用する。
10. 大会イベントアドバイザー
 - 10.1 大会イベントアドバイザーはJOAが任命する。JOAのイベントアドバイザー資格者が望ましい。
11. 附則
 - 11.1 3.2項および3.3項にもとづいて他に運営主管を委ねる場合、業務委託内容と費用分担については事前に協議して決定することとする。
 - 11.2 3.3項にもとづく場合、大会主催者は公認料とは別に日本選手権クラスの選手権料をJOAに納入する。
 - 11.3 日本選手権クラスの表彰はJOAが行う。
 - 11.4 この実施基準は2023年度より適用する。

平成 24 年 03 月 20 日制定
2020年 05 月 24 日改正
2023年 09 月 18 日改正